

令和7年度 施政方針



人と人がつながり  
幸せが循環するまち

～対話で拓く朝来市の未来～



令和7年2月

朝来市長 藤岡 勇

## 1. はじめに

頬をなでる寒風にも季節の移ろいを感じる時期となりました。

春の到来が待ち遠しい今日この頃ですが、好季節は駆け足で過ぎ去り、直後に訪れる猛暑期が長期恒常化の傾向にあることから、我が国の季節は四季から二季へと変わりつつあるとの指摘もあります。この気候変動は、災害の甚大化や農作物の栽培に大きな影響をもたらすだけでなく、人の心にも影響を与えます。古くから我が国では四季の移ろいを風情として愉しみ春花秋月を心の潤いとしてきました。この美しい季節の移ろいを変えている原因は地球温暖化であり、それが人の経済活動に起因する以上、私達は今を生きる者として現状を正しく認識し、これまで以上に環境負荷の低減に向けた対策に取り組む必要があります。市としては、市民一人一人の環境意識の醸成と政策を総合的かつ計画的に推進してまいりますので、皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、第 23 回朝来市議会定例会の招集に当たり、議員各位の御健勝をお慶び申し上げるとともに、日頃の御精励に対して心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。

それでは、令和 7 年度当初予算案をはじめ関係諸議案の御審議をお願いするに当たり、私の市政運営に対する所信並びに施策の基本方針を申し上げ、議員各位並びに市民の皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じますので、よろしくようお願い申し上げます。

まもなく、私の市長 1 期目の任期満了を迎えます。

コロナ禍の中で市民の皆様の切実な声を聞き「市民の皆様の幸せと暮らしを守る」ことこそ市政運営の根源的課題であるとの視点をぐらつかせることなく予算を編成してまいりました。

振り返りますと、令和 4 年度は「幸せと暮らしを守る道のり予算」、令和 5 年度は「幸せと暮らしを守る始動する予算」、そして令和 6 年度は「幸せと暮らしを守るため未来に挑戦する予算」として、これまでの当たり前を原点から見直し、市民満足度をより一層向上させるものとなりますよう、諸施策を実施してまいりました。

そして、そのように実施してきた施策は、「人と人」「人と地域」或いは「人と目的」と言ったようにさまざまなつながりを見せ始めました。このつながりに期待を寄せるところは、朝来市における安定的な人口の定着に

他なりません。御案内のとおり、本市は 2025 年版住みたい田舎ベストランキング(宝島社)全国第 3 位、近畿第 1 位に選ばれました。市内外の方に「朝来市に住めば様々なつながりが私を優しく受け入れてくれる」、「また帰りたい」と感じていただく「住みたいまち」の実現に向けさらなる施策を展開してまいります。

## 2. これまでを振り返って

朝来市発足から 20 年、気候や世界的な経済情勢の変動、科学技術の飛躍的進展、人口動態の変化など身の周りの様々なことが目まぐるしい速さで大きく変容し、市民ニーズも多様化してまいりました。そのニーズの変化を的確に捉えるため、私は皆様の声に真摯に耳を傾けることと、柔軟性を持って対応することを心掛けてまいりました。

以下は、第 3 次総合計画前期基本計画に基づき実施した主な取り組みですが、時流に即応した行政サービスはこれからも引き続き適時適切に実施してまいります。

### 【主な取り組み】

#### ① 「やりたい」につながる多様な学びで、未来をつくる「人」を育む

- ・ 学びのサポーターを市内各こども園及び小・中学校に配置
- ・ 地域コーディネーターを市内県立高校に配置
- ・ 適応指導教室すまいるルーム、校内サポートルームの運営及び不登校児童生徒支援員の配置
- ・ 給食費の学期無償化
- ・ コウノトリ育む農法で栽培した無農薬米を学校給食に提供
- ・ スクールバス等の運行による遠距離通学支援
- ・ AIドリルの導入や英語学習アプリの積極的活用
- ・ 高校生のキャリアトークカフェの実施
- ・ 和田山ジュピターホールの改修
- ・ 人権を考える機会の創出や意識啓発 など

#### ② 人と自然が共生しながら地域で循環する産業を確立する

- ・ 夜久野高原における農地大区画化等の整備及び観光利活用構想の検討
- ・ 地域全体で有機農業を進めるオーガニックビレッジ宣言
- ・ 朝来市森林ビジョンに基づき森林環境譲与税を活用した森林の整備

- ・企業誘致及び市内事業者の規模拡張の受け皿となる新産業団地の造成検討
- ・子育てしながら働きたい女性を対象としたお仕事大相談会と朝来クリエイターズスクールの実施
- ・映える写真の撮影スポットとして神子畑にフォトスポットの整備
- ・プラスチックごみの新たな分別収集に向けてまちづくりフォーラムでの周知予告
- ・脱炭素社会の実現に向け朝来市地球温暖化対策実行化計画の策定 など

### ③ 多様なつながり・交流を育み、地域力をより高める

- ・市民と共に考える新たな地域協働の姿の検討
- ・まちの仲間として地域を共に支える地域おこし協力隊の配置
- ・空き家バンク事業、あさご暮らし体験事業の推進
- ・移住と農業等のマッチングを図る住みたい田舎移住促進プロジェクトの推進
- ・フランスのバルビゾン村との芸術文化交流と多文化共生社会の推進
- ・未婚男女の出会いの場づくりとなる大規模婚活イベントの実施
- ・和田山花火大会の開催に向けた地域との調整 など

### ④ 誰もが居場所や役割を持ち、健幸で心豊かな暮らしを実感できる

- ・朝来医療センターへの産婦人科外来開設の働きかけ
- ・母子保健と児童福祉それぞれの専門性を活かし、一体化した「朝来市こども家庭センター」の設置
- ・妊産婦健康診査費・新生児聴覚検査費の補助制度の実施
- ・産後間もない赤ちゃんと母親の生活を支援する産後ケア事業の実施
- ・24時間対応できる産婦人科・小児科オンライン相談サービスの導入
- ・地域で子育てを応援するファミリー・サポート・センター事業の実施
- ・第2子以降保育料の無償化
- ・多様な保育環境を支援するため家庭内保育をする場合に支援金を支給
- ・高校生世代までの医療費の無償化
- ・身体障害者(児)に対する訪問入浴事業の実施
- ・帯状疱疹予防接種費用の助成
- ・聴力低下による日常生活の不便さを解消し、高齢者の社会参加、地域交流を促すための補聴器の購入補助
- ・介護タクシーの利用範囲（福知山市・丹波市）の拡大

- ・科学的根拠に基づいたフレイル予防の実施 など

### ⑤ 市民の暮らしを支える安全・安心な都市基盤を持続する

- ・地域の快適な移動手段としてデマンド型乗合交通「あさGO」の運行
- ・特急はまかぜの利用助成及び専用駐車場の設置
- ・まちの玄関口となる和田山駅南北自由通路等の整備検討
- ・ビッグデータやワンコイン浸水センサを活用した危険通学路の察知
- ・旧朝来梁瀬医療センター建物の解体と跡地利用の検討
- ・高齢者等を悪質な詐欺被害から守るための自動録音電話機の購入助成
- ・災害時の迅速かつ適切な対応を促すマイ避難カードの作成 など

### ⑥ まちの動きや情報を戦略的につなぎ、効率的で健全な行財政運営を実現する

- ・オンライン申請及び公共施設予約システムの導入等自治体DXの推進
- ・庁内業務のデジタル化による効率化の推進
- ・市ホームページのリニューアルや公式LINEによる適切な情報発信
- ・あさご未来会議、まちづくりフォーラム、ふれあい市長室など対話による開かれた広聴事業の実施
- ・ふるさと納税制度の活用による地域資源の販路拡大と自主財源の確保
- ・生野庁舎及び学童クラブの整備検討
- ・新たな行政組織による効率的かつ効果的な行政運営 など

## 3. 令和7年度予算編成方針等について

次に、令和7年度当初予算案につきまして、国の状況などもあわせて、説明をさせていただきます。

まず、国の予算案につきましては、令和7年度は、「令和6年経済対策・補正予算と合わせて、「賃上げと投資がけん引する成長型経済」へ移行するための予算」として、経済・物価動向に配慮しつつ、「防衛力の抜本強化」、「こども・子育て支援の本格実施」、「GXの推進、AI・半導体産業基盤の強化」など予算規模は、115兆5,415億円と、前年度に比べ2兆9,698億円の増となっています。

地方財政対策の通常収支分につきましては、社会保障関係費や人件費の増加等が見込まれる中、地方公共団体が、住民のニーズに的確に応えつつ、様々な行政課題に対応し、行政サービスを安定的に提供できるよう、地方

が安定的な財政運営を行うために必要となる一般財源総額について、令和6年度を1兆535億円上回る額を確保することとしています。

主な地方財政対策としましては、デジタル投資の推進として、担い手不足が急速に深刻化するおそれがある中、自治体DX・地域社会DXの取り組みを加速するため、新たに「デジタル活用推進事業費（仮称）」を1,000億円計上することとしています。

次に、こども・子育て政策の強化として、「こども・子育て支援加速化プラン」による前年度からの地方負担の増について、必要な財源を確保するとともに、地方公共団体が、こども・子育て政策の地方単独事業を実施できるよう、引き続き、ソフト事業分として一般行政経費（単独）に1,000億円を計上し、ハード事業分として投資的経費（単独）に新たに「こども・子育て支援事業費」を500億円計上することとしています。

また、一般行政経費に令和7年度給与改定に備えた「給与改善費（仮称）」2,000億円の計上や学校、福祉施設、図書館、文化施設など地方公共団体の施設の光熱費の高騰や、ごみ収集、学校給食など地方公共団体のサービス・施設管理等の委託料の増加を踏まえ1,000億円計上することとしています。

このような国の予算や地方財政対策などを注視しながら編成しました、朝来市の令和7年度の一般会計予算は235億1,000万円としており、前年度当初予算額217億5,000万円と比較して、17億6,000万円、8.1%の大幅増となっています。

一般会計予算のうち、歳入の主なものの状況ですが、まず、市税は、個人市民税における令和6年度実施の定額減税の終了による増や好調な企業業績を反映した法人市民税の増などを見込んだ結果、市税全体では、前年度より1億7,240万2千円多い41億1,245万3千円としています。

地方交付税は、地方財政計画では1.6%の増とされていますが、普通交付税では、地方公務員の給与改定に要する経費等が基準財政需要額に追加されることなどにより、前年度と比較して3億1,000万円増の67億5,000万円、特別交付税は、近年の決算額を考慮して1億円増の11億円を見込み、地方交付税総額では78億5,000万円としています。

市債は、社会教育施設整備事業債及び企業誘致促進事業債の発行額の大幅な増などにより、前年度と比較して、2億4,510万円増の27億1,680万

円を予算措置しています。

歳入の確保につきましては、地方財政計画等に基づき、適切に予算措置しておりますが、なお、不足する5億3,000万円につきましては、財政調整基金繰入金で対応することにより、収支均衡を図る予算としています。

将来にわたって効率的で健全な行財政運営を実現するため、行財政改革の推進、将来を見据えた公共施設の再配置や適正管理などに真摯に取り組み、より健全な財政運営を推進してまいりたいと考えております。

議員各位と市民の皆様の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

#### 4. 令和7年度市政運営の基本的な考え方について

私は、就任当時に市民の皆様にお誓いした「全ての市民の皆さんが幸せを実感できるまち」の実現に向け、市民の皆様との対話の時間を大切にし、市政を運営してまいりました。この4年にわたる市民の皆様との対話を振り返りますと、「人の数」の減少、「人の力」の減退に由来する「まちの力の低下」を危ぶむ声を多く賜りました。

さらにこの声は、子育てや地域活動、地域経済など広い分野にわたって共通する問題であり、その根底にある人口減少に抗うためには、横断的かつ重層的に施策を講じ、そこに人が住み、人が働き、経済が循環する仕組みづくりが必要であると深く認識しました。そして、その仕組みづくりが功を奏すれば、たとえ人口が減少しても必要な機能を残すことでまちが充実する「縮充」を図ることができるものと信じております。

朝来市に「住み続けたい」「住んでみたい」或いは「戻って住みたい」とお感じになった方々を「このまちにいれば大丈夫」「おかえり」と行政や地域、企業等が一体となり温かく受入れる態勢づくりを充実させてまいります。

それらを踏まえ、ここに令和7年度を迎えるに当たり市政運営の基本的な考え方を申し上げます。

まずは、半期を迎える「第3次朝来市総合計画」及び終期を迎える「第2期朝来市創生総合戦略」の仕上げとして施策の実践と総括、「第4次朝来市行財政改革大綱」に基づき財政規律を遵守し、後世に安定的な財政をつないでいくために「積極的な財源確保と賢い支出」を念頭に取り組んでまいります。

また、地方創生 2.0※の基本的な考え方をふまえ、朝来市全体の地域力の維持・向上と効率的な市政運営に取り組んでまいります。

その上で、令和7年度は前述した「住む」ことに照準を合わせ、朝来市に住むことによって、市民の皆様の幸福度を上げて行く「幸せと暮らしを守り、住みたいと思われる予算」として次の7つの観点に立脚した重点戦略と予算を編成し市政を運営してまいります。

※新しい地方経済・生活環境創生本部が示した戦略で、人口規模が縮小しても経済が成長し、社会を機能させるため、若者や女性に選ばれる職場や暮らしを実現する政策などを盛り込んだもの。

## **(幸せと暮らしを守り、住みたいと思われる施策)**

### **① こどもまんなか社会の実現で住みたいまちへ**

「すべてのこどもは大切にされ、基本的な人権が守られ、差別されないこと」とするこども基本法の基本理念にのっとり、次代の主役となる朝来市の全ての子どもの健やかな成長を促すとともに、子どもの権利が十分に尊重される子どもをまんなかにした子育て環境を築いてまいります。

また、家庭で愛情を持って子育てをすることを基本に、子どもと子育て家庭を取り巻く環境の変化に対応して、子育てを地域全体で支援してまいります。

市内の全ての子どもの身体的・精神的・社会的な幸福を実現させるため「朝来市こども計画」の策定に向けた準備業務を進めます。

子育て世代の家計負担を軽減し、健やかな子どもの成長を支えるため、小中学校児童・生徒の給食費を完全無償化するとともに、私立こども園の副食費に係る補助金を見直します。引き続き高校生等までの医療費を無償化します。

G I G Aスクール構想に基づき中学生1人につき1台配布したタブレット端末に英語学習アプリを導入することで、英語に触れる機会を増やし、英語力の向上を図ります。

保育環境の多様なニーズに対応するため、在宅で保育を希望される人に対しての支援金制度を継続するとともに、ファミリー・サポート・センター事業を啓発し、地域の助け合いによる子育てを一層推進します。

経鼻インフルエンザ予防接種費用を助成し、被接種者の心理的・身体的負担の軽減、医療機関内における感染リスクの回避を図ります。

森林環境譲与税を活用し、こども園等への木育推進を図ります。

市営住宅の子育て世帯等の入居者を引き続き募集し、子育て世帯等の定住促進を図ります。

### ② 妊娠・出産サポートの充実で住んで良かったまちへ

東京圏への女性の転入超過が男性を上回る傾向が続いている昨今において、女性に選ばれる地域づくりが全国的に進められています。

本市においては、昨年1年の男女別人口動態を見ると、流出数は男女ともにほぼ変わらないものの、流入数は1割以上女性が少ない状況となっています。結婚から出産、子育て、就業に至るまでの一連の取り組みを深化させ、女性に選ばれ女性が活躍できる環境を整えることで女性に好まれるまちづくりを推進してまいります。

引き続き大規模婚活イベントを実施して未婚男女の出会いの場を創出するとともに、結婚新生活支援補助金により、新婚生活を応援します。

本市に生まれてきてくれる新たな命と母親の命を守るため、妊娠・出産期に係る朝来医療センターの産婦人科外来での診察日数を拡充するとともに引き続き朝来市こども家庭センターでの相談体制等の充実を図り、併せて産婦人科・小児科のオンライン相談により妊産婦や子育て中の保護者の孤独や不安を解消し寄り添う体制を整えます。

新生児の聴覚検査費用及び産婦健康診査に要する経費の上限額を撤廃し全額を助成します。

乳児健康診査の助成制度や乳幼児等・こども医療費助成制度の継続により子育て世代の経済負担を軽減します。

### ③ 防災・減災で住んで安心なまちへ

我が国は世界有数の災害発生国であり、自然災害の頻発化と激甚化は年々その脅威を増し続けています。有事の際は人命最優先の即応体制がとれるよう平時の備えを不断かつ強固なものにしてまいります。また、高齢者の交通事故リスクの低減や人身被害が懸念される有害鳥獣対策を講じてまいります。

ワンコイン浸水センサ等を活用し、迅速かつ的確に災害情報を把握することによりいち早く市民の皆様の安全を確保します。

除雪作業を担う地元建設業の人材確保を支援するため、除雪車運転資格

取得費用等の補助を行います。また、除雪機械の確保と維持更新に必要な支援をするため、固定損料の見直しを行います。

鳥獣被害対策実施隊員が危険を伴うクマ等の駆除活動を安心して行えるよう隊員に非常勤公務員としての身分を付与し、公務災害の適用対象とするなど処遇の改善を図ります。

近年の頻発する豪雨による災害から市民の皆様を守るため、がけ地等に近接する住宅にお住いの方の移転費用を補助するとともに、住宅の耐震化率の向上を図るため耐震改修補助金を拡充します。

交通事故から大切な命を守るため、運転免許証を返納した高齢者が購入するシニアカー等の購入費用の一部を補助します。

市民の皆様が災害時または災害の備えに向けた自助に関する取り組みを積極的に実施できるよう防災用品購入費用の補助を行います。

朝来市災害復旧事業補助金の補助率等を見直し激甚化・頻発化する自然災害と昨今の物価高騰による地域の負担を軽減します。

#### ④ 高齢者や障害のある方等が住みやすいまちへ

本市にお住いの高齢の方々が今後もますますお元気で活躍いただける環境の創出に取り組みます。また、障害のある方が障害の有無によって分け隔てられることなく、希望を持ち社会参加できる社会の実現を目指してまいります。

紙おむつは廃棄する際にかさ張り、ごみ袋の消費が多くなることから介護者の経済的負担を軽減するため要介護者等に対しごみ袋を支給します。

近年の夏場の猛暑や冬場におけるヒートショックから高齢の方を守るため、いきいき住宅助成対象工事に窓の断熱工事を追加します。

高齢者等の社会参加を促進する主要な交通手段として「あさGO」の運行を市内全域へ拡大します。

民生委員・児童委員及び民生・児童協力委員の活動環境の改善を図るため、市独自の費用弁償制度を創設します。

視覚障害のある方に対する視覚障害者用拡大読書器やストーマ造設者に対するストーマ装具などの給付基準額を近年の社会情勢に照らした適切な価格へと見直し、経済的負担を軽減し、自立した生活や社会参加の促進を図ります。

心身ともに健康で生きがいを感じ暮らすことができるよう、がんの早期発見・早期治療を促進し、健康寿命を延ばすため国民健康保険加入者のがん検診（胃がん等5つの検診）を無償化します。

令和4年度から実施している障害者(児)訪問入浴サービスについて、猛暑が続く昨今の状況を鑑み、夏季における訪問入浴サービスの利用回数を増やすことで利用者の清潔な身体状況の保持を図るとともに、介護者の負担の軽減を図ります。

带状疱疹予防接種は、定期接種対象者の自己負担の軽減を図るとともに、任意接種者についても引き続き助成の対象とします。

福祉分野とまちづくり分野との連携による重層的支援体制整備事業の移行準備を行い令和8年度からの本格的な運営を目指します。

## ⑤ 循環型社会の実現とデジタル技術の活用で住みやすいまちへ

国の第6次環境基本計画の目指すべき可能な社会の姿「環境保全とそれを通じたウェルビーイング（高い生活の質）が実現できる循環共生型社会の構築」と第4次朝来市環境基本計画の望ましい環境像「人と自然が共生し豊かな環境を守り活かすまち朝来市」の実現を図ってまいります。  
また、デジタル技術の活用により行政サービスの利便性向上と効率化を図ってまいります。

プラスチック資源の循環を加速し、社会全体で循環型社会への移行を図るため、プラスチック製品も資源ごみとしての収集を始めます。

人と自然が共生しながら朝来市の豊かな自然を保全し、次世代に引き継いでいくことを目的とした朝来市自然環境保護施設(仮称)の整備を進めます。

市役所窓口の手書き申請書類を削減しDXによる書かない窓口の導入で利便性の向上を図るほか、公共施設管理や対人サービスについてもデジタル化を進め行政サービスの効率化を推進します。

窓口における各種証明書等発行手数料のキャッシュレス決済の導入と市民課窓口が発券機を設置することにより、窓口における利便性の向上と業務の効率化を図ります。

## ⑥ 対話と共創で住んで楽しいまちへ

合併から 20 年の変遷の中で、地域社会や家族の在り様などが大きく変容しており、時流に即応した適時適切な行政サービスを提供することが急務となっています。市民の皆様の声に真摯に耳を傾けるとともに、市民ニーズの変化には、柔軟性を持って対応してまいります。

また、女性や若者に選ばれるまちづくりを進めてまいります。

市民一人一人が多様性を認め合いつつ自分らしく輝き、お互いが協力しあえるまちを目指し、あさご未来会議等で出た意見を参考に総合計画後期基本計画を策定します。

デジタル化の進展で日常の利便性向上が図られている一方で、個人の人権を無視したネットによる誹謗中傷等を横行させないための教育や意識の醸成、啓発を行います。

ふれあい市長室やまちづくりフォーラムでの地域の方々の声、中学生の保護者の皆様や高校生の子育て現場や教育現場の生の声を聴き施策に反映させます。

視野を広げた新しい行政サービスの在り方を研究するため大学等との連携を推進します。

市民の皆様の声聴き「みんなに伝わる広報」の在り方を研究します。

旧来の労働確保という視点ではなく今後の地域維持に外国人の力を借りる必要があることを認識した多文化共生の地域づくりを研究します。

地域自治協議会への支援体制と包括交付金の見直しを行うことにより、今後の集落活動を補完する地域自治協議会の強化を図ります。

## ⑦ 産業と都市基盤の充実で住んで儲けるまちへ

地方創生 2.0 の基本的な考え「安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生」に基づき地域資源を活用した高付加価値産業の創出とそれらを活用した外貨の獲得を積極的に進めてまいります。

また、足腰の強い経済基盤の構築を図るとともに、将来を担う若者が魅力を感じるまちとして都市基盤の整備を進めてまいります。

企業誘致や市内事業者の規模拡張の受け皿となる産業団地の造成を進めるとともに、起業を促進し内発的な産業の活性化を図ります。

女性が働きやすく女性に選ばれるまちへの取り組みを進めるとともに、

若者の市内就職に向けた取り組みを推進します。

オーガニックビレッジ宣言に基づいた有機農業を地域全体で進め農産物の高付加価値化を図ります。

物価高騰による農家の経済的負担を軽減するため、引き続き水稻苗代補助及び新たに肥料等資材代の一部を補助します。

市内農業者の負担を軽減するため、ラジコン草刈り機を無償貸与します。

日本農業遺産の認定を受けた岩津ねぎを核とした資源循環型農業システムを有効に活用して、岩津ねぎを全国に発信するため、本市で開催する「全国ねぎサミット2025inあさご」を盛り上げ積極的にPRを行います。

万博等を機とした観光客の呼び込みを推進し、市内観光入込客数及び観光消費額の増加を図ります。

まちの玄関口となる和田山駅周辺の賑わいの再生と持続的な活性化を図るとともに、高校生から要望が多い駅周辺への居場所づくりの整備を進めます。

プレミアム付スマホ決済「あさご Pay」を発行することにより、市内における消費喚起を図るとともに、物価高騰の影響を受ける家計を支援するため「あさご元気応援券」を全市民に配布します。

市内事業者の経営の安定と市内経済の活性化を図るため店舗のリニューアル工事に係る費用の一部を補助します。

デマンド型乗り合い交通「あさGO」を市内全域に拡大し、さらなる利便性向上を図ります。

## ライフステージに合わせた切れ目のない応援(主なもの)

結婚新生活支援補助金

婚活イベントの実施



### 説明

経済的な支援  
市の支援額

体制的な支援

世代ごとに対象となるサービスを記入していますが、主な世代について記入しているものであり、幅広い世代にわたってサービスを利用できるものもあります。

※1 誕生日により最も多く支援を受けられる月数で試算

※2 保育料23千円で最大月数を乗じて試算

※3 毎月医療費の公費負担分の平均(医科及び調剤)に18歳までの月数を乗じて試算

妊婦支援給付金

出生祝事業

妊婦健康診査費助成  
全額助成

産後ケア事業

妊産婦移動サポート助成

【拡充】  
産婦健康診査費助成  
全額助成

不育症治療費助成

一般不妊治療費助成  
特定不妊治療費助成

産婦人科・小児科  
オンライン相談

【拡充】  
新生児聴覚検査費助成  
全額助成

1か月児等健康診査費助成  
全額助成

※1 在宅保育支援事業  
生後7ヶ月から40ヶ月間で  
最大40万円を支給

※2  
第2子以降保育料無償化  
生後7ヶ月から満3歳まで  
最大69万円を無償化

※3 医療費の  
0歳から  
医療費

【拡充】 経鼻インフル

ファミリー・サポート・  
(生後6か月～)



結婚期

妊娠  
出産期

乳幼児期  
～6歳

【新規】小中学校給食費  
小中学校9年間で  
1人あたり約50万円を無償化

遠距離通学費助成

学校給食に朝来市産  
コウノトリ米（農薬不使用）を提供

適応指導教室  
「すまいるルーム」の運営

生野駅の利便性向上に向けた改修  
（高校生からの要望）

無償化  
18歳までの  
約60万円を無償化

エンザ予防接種助成

センター事業  
小学校6年生まで



鉄道利便性の向上（パーク＆ライド） デマンド型乗り合い交通の導入

学齢期  
～18歳

青年  
壮年期

高齢期  
65歳～

【拡充】帯状疱疹予防接種助成

人間ドック助成事業（国保・後期高齢者医療保険加入者）

高齢者インフルエンザ予防接種無償化

新型コロナワクチン予防接種助成

高齢者肺炎球菌予防接種助成

高齢者補聴器購入助成

認知症高齢者等GPS機能付端末費助成

個人賠償責任保険加入事業

【拡充】人生いきいき住宅助成事業

【新規】紙おむつ用ごみ袋支給事業



【拡充】がん検診無償化  
（20～69歳までの国保加入者及び70歳以上の高齢者）

プレミアム付スマホ決済「あさごPay」  
プレミアム最大8千円（4千円×2回）

【新規】あさご元気応援券の配布（1人あたり5千円）

外出支援サービス  
朝来市、豊岡市、養父市、丹波市、福知山市、神崎郡内の医療機関または機能訓練施設  
15万円～36万円

【拡充】住宅リフォーム助成事業

高齢者等優待乗車カード  
「あこか」の発行

## 5. 令和7年度の主な施策・事業等について

市政運営の基本的な考え方でお示した7つの重点施策を実施することにより「第3次朝来市総合計画前期基本計画」の最終年度として施策の総仕上げと改善を図るとともに、先送りできない未来への課題に対処するため新規8事業、拡充32事業を令和7年度の主要な事業として施策を展開してまいります。

なお、10事業を休廃止しました。

それでは、第3次朝来市総合計画の6つのありたいまちの姿、基本計画の体系に基づき、令和7年度の主要な事業等について申し上げます。

### (1) 「やりたい」につながる多様な学びで、未来をつくる「人」を育む

あさご未来会議やキャリアトークカフェ、デジタルを活用したオンラインプラットフォームなど、高校生を含む地域の多様な人と人がつながる場・対話の場づくりを創出し、主体性やシビックプライドなどを育み、市民一人一人の様々なチャレンジの実現につながる人材育成の充実を図ります。また、大学連携による多様な学びの場づくりにより、高校生等のコミュニケーション教育やデジタル人材育成に向けた取り組み等を推進します。

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、市立小中学校の給食費の完全無償化を実施します。

農産物の消費拡大及び食育に向けた取組の一環として、市内こども園、小中学校の学校給食への農薬不使用の農産物の提供をします。

依然、不登校の増加傾向が続いている小学校に対する措置として、不登校児童生徒支援員の配置を3名増員します。

全国に先駆け不登校生徒の受け皿となり、全国的にも社会的評価の高い生野学園の長寿命化等に係る施設改修に対し費用の一部を補助します。

中学校の部活動を指導する教職員の負担を軽減するため、昨年度に引き続き、国県の方針に基づき部活動の地域連携を行い、地域展開を推進します。

国の第2期 GIGA スクール構想による1人1台端末の着実な更新を行うため、令和元・2年度に整備したタブレット端末の更新を行うとともに、中学生の英語に触れる機会を増やすことで英語力の向上を図るため、タブレット端末に英語学習アプリを導入します。

アメリカオレゴン州・ニューバーグ市との姉妹都市交流を市内在住の私立中学生に対しても派遣募集を行うとともに、市制施行20周年を記念し募集人数を5人から10人に増やします。

市民の計画的、継続的なスポーツ活動への支援やスポーツを通じた健康増進を図るため、和田山中央文化公園内に「屋根付運動施設」の整備を進めます。市民憩いの公園機能は維持しながらも、雨天時や夏場の猛暑、冬場の降雪といった天候に左右されない環境を整えることによって、誰もがスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組みます。

フランスのバルビゾン村でバルビゾン派 200 周年を記念して開催される「アーティスト・イン・レジデンス」に参加する芸術家を支援し、芸術文化交流の絆を深めます。

すべての人の人権が尊重される社会の実現を目指し、部落差別問題をはじめとするあらゆる差別の解消に向け、関係機関との連携・協力による啓発・教育を行います。

若い世代への人権尊重意識の涵養を図る啓発活動やインターネットによる人権侵害、性的マイノリティに対する差別や偏見など、新たな人権課題についての取り組みを積極的に進めます。併せて、男女共同参画プラン等の基礎資料となる人権についての市民意識調査を実施します。

## **(2) 人と自然が共生しながら地域で循環する産業を確立する**

朝来市の豊かな自然環境を紹介するとともに、その象徴と言える特別天然記念物オオサンショウウオの調査・研究を進め、情報発信や環境教育を行う施設を生野町黒川地区に整備します。また、他の観光施設等との連携によって、黒

川地区及び朝来市の活性化を図ります。

本市の温室効果ガス排出量の削減に向けた施策や削減目標を定めて脱炭素社会実現に向けた市民・事業者・市が共同で取り組み、国が目指すカーボンニュートラル(温室効果ガスである二酸化炭素排出実質ゼロ)を推進します。

循環型社会の実現に向け、ごみの減量と分別の必要性を継続的に市民に訴え掛けるとともに、プラスチック資源の循環を図るため、養父市との協調により新たな「プラスチック類」の分別収集に取り組みます。

生物多様性を生かした持続可能な地域づくりを目指し、朝来市の自然的・社会的条件に応じた独自計画として「朝来市生物多様性地域戦略」の策定に向け取り組みます。

エネルギーや肥料価格等の高騰による農家の生産意欲の減退や離農を防ぐため、水稻苗代及び肥料等資材代の一部を補助します。

農地周辺の法面草刈り作業は農業者等の負担を伴っていることから、ラジコン草刈り機を無償貸付することにより安全に農作業ができる環境の確保に努めます。そのほか、トラクター等のリースについても研究を進めます。

農業インフラの老朽化や農業の効率化に対応するため再ほ場整備事業に取り組みます。令和7年度は東河地区の実施設計を行います。

約150年にわたる先人たちのたゆまない取り組みが脈々と受け継がれた岩津ねぎは、資源循環型農業システムが認められ日本農業遺産に認定されました。この全国に誇れる岩津ねぎの知名度アップを図るため、「全国ねぎサミット2025in あさご」を本市で開催し、ブランド向上に向けた取り組みと農業を核とした持続可能な地域づくりを全国に発信します。

企業誘致や市内事業者が規模拡張を行う際の受け皿となる産業団地の整備に必要となる業務を推進します。

市内事業者の経営の安定と市内経済の活性化を図るため、市内事業者を活用して店舗リニューアル工事を行う市内事業者に対し、工事に係る経費の一部を助成します。

事業者の受注機会の増加による経済の活性化と市民の生活環境の向上を図るため、住宅リフォーム補助金の予算枠を拡充します。

プレミアム付スマホ決済「あさご Pay」を発行することにより、地域における消費の喚起と経済の活性化を図ります。

竹田城跡の魅力を観光資源と文化財の両面から魅力を伝える XR(クロスリアリティ)※の導入を再研究します。 ※現実世界と仮想世界を融合し、新しい体験を創造する技術

岩津ねぎなど市内特産品をはじめとする但馬ブランド製品の発信及び交流人口の拡大を図るため、但馬まるごと感動市に代わり、「あさごうまいもんフェス」を開催します。令和7年度は西日本で初開催となる「全国ねぎサミット 2025in あさご」と合同開催とします。

朝来市の観光情報発信や誘客を図るため、2025 年開催の「大阪・関西万博」会場の関西パビリオン内兵庫県ゾーンでの朝来市観光大使による公演、万博来場者用駐車場での「楽市・楽座イベント」や関西空港等での PR ブース出展などを行います。

日本遺産「銀の馬車道・鉦石の道」の重要構成資源の魅力について、SNS 等による情報拡散を図るほか、生野鉦山ゆかりのバラの普及・整備とあわせたサイクリングツアーの実施等、資源を活用したイベントの開催などを通じて市内への来訪者の増加を図ります。また、資源の価値を高めるための調査研究を進めるほか、新たな取り組みとして、子どもたちを対象とした生野鉦山や日本遺産の学習講座等への地域の観光ガイドの派遣や、日本遺産出前講座を通じて、子どもたちに日本遺産に興味を持ってもらえる機会の創出に取り組みます。

「竹田城跡整備基本計画」に基づき、引き続き発掘調査で確認した遺構を適

切に保存しながら、来城される方に配慮した城跡内の整備工事を実施します。

「朝来市歴史文化基本構想」に基づき、文化財保存活用のアクションプランを定める「朝来市文化財保存活用地域計画」の策定に向け準備作業を行います。

### **(3) 多様なつながり・交流を育み、地域力をより高める**

地域自治協議会の取り組みを支援していくため、事務局運営費の増額を行うとともに、地域協働事業額の在り方を見直し、より柔軟に利用できるものとします。加えて、地域自治協議会の活動をより充実したものとするためスーパーバイザーによる伴走支援を行います。

結婚新生活支援事業補助金を継続していくほか、未婚男女の出会いの場づくりのため大規模婚活イベントを引き続き開催し、未婚男女の結婚を支援します。

壱岐市との友好都市提携 10 周年(平成 27 年6月 27 日提携)を記念して、友好都市壱岐市写真展を 11 月下旬に開催します。また、壱岐市が開催するイベントへの参加や箱崎小学校と東河小学校の交流事業を通じて、引き続き交流と連携を深めます。

農業の新たな担い手の確保を目的とした新規就農希望者研修費補助事業及び研修終了後に認定新規就農者に認定された農業者に対し、農業経営開始に向けての経営開始資金、経営発展支援事業助成金により支援します。

また、転入された方等に対して「あさご暮らし住宅取得等応援事業補助金」や「空家活用促進事業補助金」を補助することにより、若者世代を中心とした移住定住を促進します。

本市で暮らす外国人の皆様が、地域社会の一員として共に生活する多文化共生社会を推進するため、日本語教室をはじめとする国際交流活動を通じて、異文化理解を深める取り組みを進めます。また、外国人を含めた、市民、地域(地域自治協議会)、企業などへの意識調査を行い、今後の多文化共生推進に関する基本方針の策定を進めます。

市制施行 20 周年を記念し、冠事業として実施する各種事業については各方面に幅広く周知を行い朝来市を広く PR するとともに、記念式典を 11 月に和田山ジュピターホールで開催します。なお、式典は二部構成とし、第二部は市民の皆様の参加型の催しとします。

#### **(4) 誰もが居場所や役割を持ち、健幸で心豊かな暮らしを実感できる**

令和6年4月に設置した「朝来市こども家庭センター」の相談機能の充実を図るため、保健センターの改修工事を行います。

また、「朝来市こども家庭センター」の周知を図り、本市の各こども施策をPRするため、市内の子どもや保護者を対象に周知イベントとして「あさごっこフェスタ」(仮称)を開催します。

産前・産後サポート事業、産後ケア事業、産婦人科・小児科オンライン相談や妊産婦健診等にかかる交通費助成を実施し、妊娠・出産の不安を軽減するなど、妊産婦や子育て家庭に寄り添う伴走型相談支援を強化します。

現行の妊婦健康診査にかかる費用の全額助成に加えて、新たに産後の母親の健康を守り、安心して子育てができるための産婦健康診査費の助成額をこれまでの1回あたり上限5,000円(最大2回)を撤廃し、全額助成します。

現行の1か月児等健康診査に対する費用助成に加えて、新たに子どもの健やかな成長への支援として、新生児聴覚検査費(初回検査)の助成額をこれまでの上限5,000円を撤廃し、全額助成します。

子どもの経鼻インフルエンザ予防接種費用を助成し、被接種者の心理的・身体的負担の軽減、医療機関内における感染リスクの回避を図るほか、引き続き高齢者のインフルエンザ予防接種費用を無償化します。

こども大綱、こども基本法の趣旨及び県こども計画の骨子を踏まえ「朝来市こども計画」を策定するため、子どもや若者から意見聴取を行います。

多様な子育て環境を支援するため、引き続き、同時に入園する第2子以降の

保育料を無償とするとともに、未就学児が保育園・こども園等に入園する要件を満たさず家庭内で保育をする場合に、支援金を給付します。

子育て支援の充実を図るため、病気の乳幼児・児童がこども園・保育園・小学校に登園・登校できず、かつ、保護者が就労などにより自宅での保育が困難な場合に、医療機関等において病気の乳幼児・児童を一時的に預かる病児・病後児保育事業を引き続き実施します。

保護者の経済的負担の軽減を図るため、市内の公立こども園の3歳から5歳児クラスの給食費のうち、副食費を無償化するとともに、私立保育園・こども園の3歳から5歳児クラスの給食費について、公立こども園の副食費相当額を上限に引き続き補助します。

木の香りや温もりが子どもの心を豊かにし、健やかな成長を促すとされる木育に着目し、森林環境譲与税を活用し、市内保育園及びこども園に木製玩具等を配布します。

引き続き0歳から高校生等の子どもの通院・入院医療費の自己負担額を無償化します。(所得制限を撤廃及び他の公費負担医療費との併用可能)

常時紙おむつが必要な高齢者等を支援することで、高齢者等の自立と生活の質を維持するとともに、経済的負担の軽減となるようごみ袋を支給します。(指定ごみ袋大1年間相当分 1/2 を現物支給)

高齢者等が住み慣れた住宅で安心して自立した生活を送ることのできる住環境を整備し、長寿社会に対応した優しい住まいづくりを実現するため、バリアフリーや窓断熱に係る住宅改修費用の一部を助成します。

市独自の費用弁償制度を創設し処遇改善を図ることで、住民の見守り役、身近な相談相手としての民生委員・児童委員等の活動を支援し、安心して暮らせる地域社会の構築を目指します。現在の費用弁償費 60,200 円に 12,000 円(市独自)を上乗せ支給し、民生・児童協力委員にも費用弁償費 6,000 円を新たに

支給します。

ひきこもりによる地域社会からの孤立や長期化、高齢化に伴う親亡き後の生活困窮等が社会問題となる中で、引き続き「ひきこもり対策推進事業」を充実させるため、ひきこもり当事者や家族に寄り添う相談支援や安心して過ごせる居場所づくり、必要な方に必要なサービスと情報を届ける訪問支援に取り組みます。

属性を問わない相談支援、参加支援及び地域づくりに向けた支援を一体的に実施することにより、重層的なセーフティーネットを構築し包括的支援体制を整備します。令和7年度は、6年度に引き続き8年度の重層的支援体制整備事業の本格実施に向けた移行準備を行います。内容として、アウトリーチ等支援員の配置やポータルサイトの運用について取り組みを行います。

障害のある方がその能力や適性に応じ、自立した日常生活等を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じて柔軟な事業を実施します。視覚障害者用拡大読書器、ストーマ装具、特殊マット、移動用リフトの給付基準額の引き上げ(日常生活用具支給事業)、訪問入浴サービスに係る利用回数を週2回から3回に増加(6～9月の夏期のみ)します。

帯状疱疹の発症や重症化を予防するため定期接種対象者の自己負担の軽減を図るとともに、任意接種者についても引き続き予防接種費用の一部を助成します。

がんの早期発見、早期治療により個人の健康管理に寄与するため、がん検診の受診勧奨及びがん予防に関する普及啓発を積極的に推進します。特に令和7年度からは、従前の70歳以上の方に加えて、国保加入者の胃がん、肺がん、大腸がん等の5つのがん検診にかかる受診料を無料とします。

また、がん患者の治療に伴う心理的負担の軽減や療養生活の向上を図るため、医療用ウィッグなどの補整具の購入費用の助成も継続して実施します。

第2次朝来市健康増進計画・第3次食育推進計画「健康あさご21」が令和7年度で計画期間の終期を迎えることから、市民、学校、地域、行政等が一体とな

って協働で、健幸づくりを推進するため新たな次期計画を策定します。

市民が生涯にわたり、生きがいを感じ健やかで幸せに暮らすことができるよう、市民一人一人の健幸づくりの意識の高揚と、個人の主体的な健康行動の実践のきっかけとなるよう、インセンティブを提供する「健幸づくりポイント事業」を継続して実施していきます。令和7年度はさらに個人が楽しく努力し続けることができる仕組みづくりとして、アプリ導入にむけた研究、準備を進めていきます。

### **(5) 市民の暮らしを支える安全・安心な都市基盤を持続する**

JR和田山駅南北自由通路の整備に向けた基本設計を行うとともに、駅南ロータリーにおいて送迎車両等により混雑が発生していることから改修工事を実施します。また、JR生野駅東口待合室の改修に向けて、地域住民や生野高校生との対話を行いながら、実施設計を行います。

朝来医療センター周辺の土地利用について、魅力あるまちづくりを推進するため農地利用との調整や田園環境との調和を図りつつ、用途地域の拡大も含めた土地利用の在り方を検討します。

朝来市空家等の適切な管理及び有効活用の促進に関する条例や朝来市空家等対策計画等に基づき、空家等対策を総合的かつ計画的に推進します。特に、老朽危険空家及び破損空家について、所有者の自発的な除却を促進するため、除却費用の一部を補助する支援を行い、地域の安全・安心の確保に努めます。

土砂災害の恐れがある区域に存する危険住宅等の移転を促進するため、朝来市がけ地近接等危険住宅移転事業補助金とともに、住宅の耐震化の向上を図るため、耐震改修補助金を拡充します。

令和7年4月1日から和田山・山東エリアにおいて、デマンド型乗合交通「あさGO」の運行を開始することにより、市内全域がアコバスからフルデマンド体制になります。既存の公共交通機関との共存を図りながら、市民の暮らしを豊かにするための公共交通の確保につなげます。

市民の暮らしを支える生活基盤を未来につなげるため、地域とともに助け合いながら持続可能な維持管理を推進しつつ、快適で安心な市民生活を支えるため、生活道路や通学路の安全確保に向けて地域と連携しながら、計画的かつ効率的な維持管理を行います。

建設業界への就職者数の減少や高齢退職に伴う除雪機械オペレータ不足により、除雪業者の疲弊が深刻化していることから、除雪機械運転に必要な資格取得等の費用の一部を補助し、オペレータの確保を図ります。

近年、全国で頻発するクマによる人身被害は社会問題となっています。鳥獣被害対策実施隊員の処遇を改善することにより隊員の確保と負担の軽減を図ります。

消防団員の確保・育成及び災害現場等への迅速な出動を図るため、消防団員の準中型免許の取得及びAT限定解除等に係る経費を継続して補助します。

災害から命を守るために、災害時に迅速かつ適切な対応を取ることができるようマイ避難カードの普及促進の取り組みを行い、併せて各区における「地区防災計画」の作成、更新などの取り組みの推進を図ります。また、市民一人一人が自助に関する取り組みを積極的に実施できるよう、朝来市家庭用防災用品購入支援補助金を創設し、市民の防災意識向上及び災害への備えを図ります。

運転免許証を返納した高齢者のシニアカー購入費用、高齢者の安全運転支援装置設置費用及び自転車用ヘルメット購入費用の一部を補助する「朝来市命を守る交通安全支援補助金」を創設し、高齢者の事故抑止及び事故発生時の被害の軽減、自転車利用者の事故発生時の被害の軽減を図ります。

災害時における情報収集や市民への情報発信を迅速かつ正確に行うための災害情報システムの導入を検討します。

## **(6) まちの動きや情報を戦略的につなぎ、効率的で健全な行財政運営を実現する**

令和6年度は市内2高校の生徒と対話の時間を持ちましたが、令和7年度は中学校に出向き、将来を担う子どもたちに朝来市の魅力を伝えるとともに、生徒と目線を合わせた意見交換を行います。また、中学生の保護者(PTA等)とも子育て環境に関する事柄について意見交換できる場を設けます。そのほか、本年度及び昨年度に行った「ふれあい市長室」は大変好評であったため、令和7年度も引き続き地域の方々と膝を突き合わせた意見交換を行います。

伝わる情報発信を意識し、リアルタイムに分かりやすく新鮮な情報を届けるための職員研修や見やすいホームページの改良、SNSの効果的な活用に取り組みます。

生野庁舎は老朽化が進んでおり、現在の耐震基準を満たしていない状況にあるため、周辺施設の統合集約化を図りながら必要な整備を進めています。

令和7年度は現生野庁舎の解体を行い、新生野庁舎の新築に着手し、令和8年度の竣工に向け工事を進めます。

ケーブルテレビデータ放送での有料広告制度を導入するとともに、市の公共施設を対象としたネーミングライツの導入に向けた研究を行い新たな自主財源の確保を進めます。

長引く物価高騰対策として「あさご元気応援券」を全市民に配布します。

また、昨今の自然災害など市民生活に影響を及ぼす事柄が生じた場合には、今後における国の情勢等を鑑み、適時に補正予算等により対応してまいります。

ふるさと寄附については、令和6年度は目標額の5億円を大幅に超え過去最高の寄附収入となりましたが、より効果的な広告を継続するとともに、各ポータルサイトの特徴を活かした効果的な運用により更なる増収を目指します。

併せて、企業版ふるさと納税についても寄附額の増収を目指し事業者へ積極的に働きかけます。

朝来市DX推進方針に基づきデジタル技術を活用した行政サービスの変革を行い、市民の利便性の向上及び業務の効率化を目指します。令和6年度に準備を進めてきた書かない窓口の仕組みや窓口における各種手数料等のキャッシュレス決済のサービスを新たに提供するほか、本庁のみに設置していた証明書自動交付機を各支所にも設置し、サービス向上を図ります。

以上、市政運営に関する私の所信の一端と令和7年度における主な施策及び事業について申し上げます、令和7年度の施政方針といたします。

議員各位におかれましては、「人と人がつながり 幸せが循環するまち」の実現に向け、旧に倍しての御支援と御協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

## 令和7年度 第3次朝来市総合計画の施策体系に基づく主な事業

### ① やりたいに繋がる多様な学びで、未来をつくる「人」を育む

- 創生人財育成プロジェクト事業
- 適応指導教室事業
- 【拡】○不登校児童生徒支援員配置事業
- 小学校特色ある学校づくり事業
- 中学校特色ある学校づくり事業
- 【拡】○小・中学校教育振興事業
- 【新】○東河小学校舎長寿命化改良事業
- 【拡】○中学生国際交流支援事業
- 【拡】○給食センター運営管理事業(給食費無償化分)
- 【拡】○体育施設整備事業(屋根付運動施設)
- 多文化共生・国際交流事業
- 男女共同参画推進事業
- 文化会館自主文化事業
- 文化会館施設等整備事業(和田山ジュピターホール)
- 美術館企画展事業

### ② 人と自然が共生しながら地域で循環する産業を確立する

- 電子地域通貨等発行支援事業
- 企業誘致促進事業
- 【拡】○住宅リフォーム助成事業
- 【新】○店舗リニューアル助成事業
- 住みたい田舎移住促進プロジェクト事業
- 【拡】○生産農家支援緊急対策事業
- 【拡】○農地費一般管理事業(ラジコン草刈り機無償貸与)
- 【拡】○有機農業産地づくり推進事業(有機 JAS 補助)
- 【新】○日本農業遺産活用事業(全国ねぎサミット 2025in あさご)
- 農業競争力強化農地整備事業
- 森林経営管理事業
- 【新】○あさごうまいもんフェス事業
- 【拡】○観光プロモーション事業
- 【拡】○環境保全推進事業
- 【拡】○天然記念物保護活用事業(自然環境保護施設(仮称))
- 【拡】○日本遺産活用事業
- 歴史観光施設運営管理事業
- 竹田城跡保存整備事業

### ③ 多様なつながり・交流を育み、地域力をより高める

- 【新】○市制 20 周年記念式典事業
- 【拡】○地域自治協議会支援事業
- 定住促進事業
- 【拡】○壱岐市との交流事業
- 多文化共生・国際交流事業

#### ④ 誰もが居場所や役割を持ち、健幸で心豊かな暮らしを実感できる

【拡】○こども園運営管理事業

【新】○こども計画策定事業

【拡】○私立保育所・こども園運営改善支援事業

【拡】○児童福祉一般管理事業(あさごっこフェスタ(仮称)開催分)

○妊娠・出産包括支援事業

【拡】○妊産婦健康診査費助成事業

【拡】○乳児等健康診査費助成事業

【拡】○ひきこもり対策推進事業

【拡】○障害者(児)地域生活支援事業

【拡】○民生委員活動事業(民生委員・児童委員、民生・児童協力委員費用弁償費上乘せ分)

【新】○紙おむつ用ごみ袋支給事業

【拡】○人生いきいき住宅助成事業

○保健対策推進事業(第3次朝来市健康増進計画及び第4次朝来市食育推進計画策定分)

【拡】○予防接種事業

【拡】○がん対策事業

○健幸づくりポイント事業

#### ⑤ 市民の暮らしを支える安全・安心な都市基盤を維持する

○道路橋梁新設改良事業

【拡】○デマンド型乗合交通運行事業

【拡】○都市計画総務一般管理事業

○空家等対策事業

○街なみ環境整備事業

○市営住宅整備事業

○県営地籍調査事業

○市営地籍調査事業

○コミュニティ・プラント整備事業

【拡】○し尿処理施設整備事業

○消防団活動事業

【拡】○防災推進事業(家庭用防災用品購入支援補助金分)

【拡】○交通安全対策事業(命を守る交通安全支援補助金分)

#### ⑥ まちの動きや情報を戦略的につなぎ、効率的で健全な行財政運営を実現する

○広報広聴事業

【拡】○行政マネジメント推進事業

○ふるさと寄附金事業

【新】○あさご元気応援券配布事業

○庁舎整備事業(生野町庁舎等)

○自治体DX推進事業

○戸籍住民基本台帳事業

○固定資産税課税資料等更新事業

○ケーブルテレビ施設整備事業